2022年（令和4年）3月30日（水曜日）　北海道新聞

地域医療存続 2法人が誓う

追分クリニック引き継ぎ

【安平】後継者の確保などが課題になっていた町追分本町の診療所「追分クリニック」の経営が4月以降、医療法人同和会（町追分本町）から、苫小牧東病院を運営する社会医療法人平成醫塾（苫小牧市明野新町）に代わるのを前に、引き継ぎ式が3月28日、町役場で行われた。

両法人の理事長や及川秀一郎町長ら約15人が出席した。同クリニック院長を務める同和会の菊池晃理事長は「自分の体調の問題で経営を継続できないのは申し訳ないが、今後も協力したい」とあいさつ。平成醫塾の橋本洋一理事長は「地域医療を守ってきたことに敬意を表し、全力を注いで頑張る」と力を込めた。

同クリニックは4月1日から「あびら追分クリニック」に名称を変更。患者や医療従事者が苫小牧東病院と行き来しやすいよう、平成醫塾が同月から町内と同病院を結ぶ連絡バスを運行し、今秋には電子カルテも導入する。（木村みなみ）

同和会から追分クリニックの経営を引き継ぐ平成醫塾の橋本洋一理事長（右）と、同和会の菊池晃理事長（同3人目）ら